



令和元年 10月 29日

真庭市議会
議長 古南 源二 殿

真庭市議会議員 入澤 廣成 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行いますので届けます。

記

1 区 分 調査研究 研修会 ~~要請・陳情活動~~

2 訪 問 先

- ① 高知県高知市布師田 (研修会)
- ② 高知県高岡郡檮原町 (調査研究)

3 内 容

視察目的

- ① 全国市議会議長会研究フォーラム・10月30日(水)～31日(木)
基調講演・パネルディスカッション・課題討議・視察
- ② 高知県檮原町・10月31日(木)PM～
隈研吾氏建造物見学 (総合庁舎、図書館、ホテル等々)

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ~~不要~~



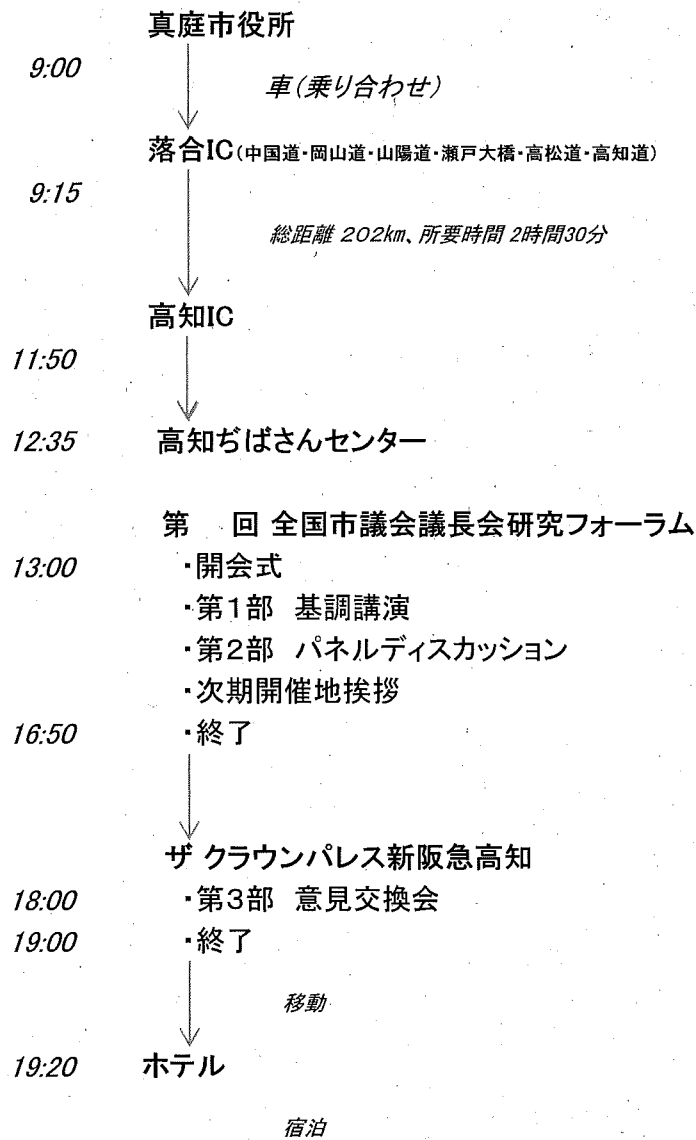
(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること

◆ 参加議員

- ・ 入澤 廣成
- ・ 柴田 正志
- ・ 谷本 彰良

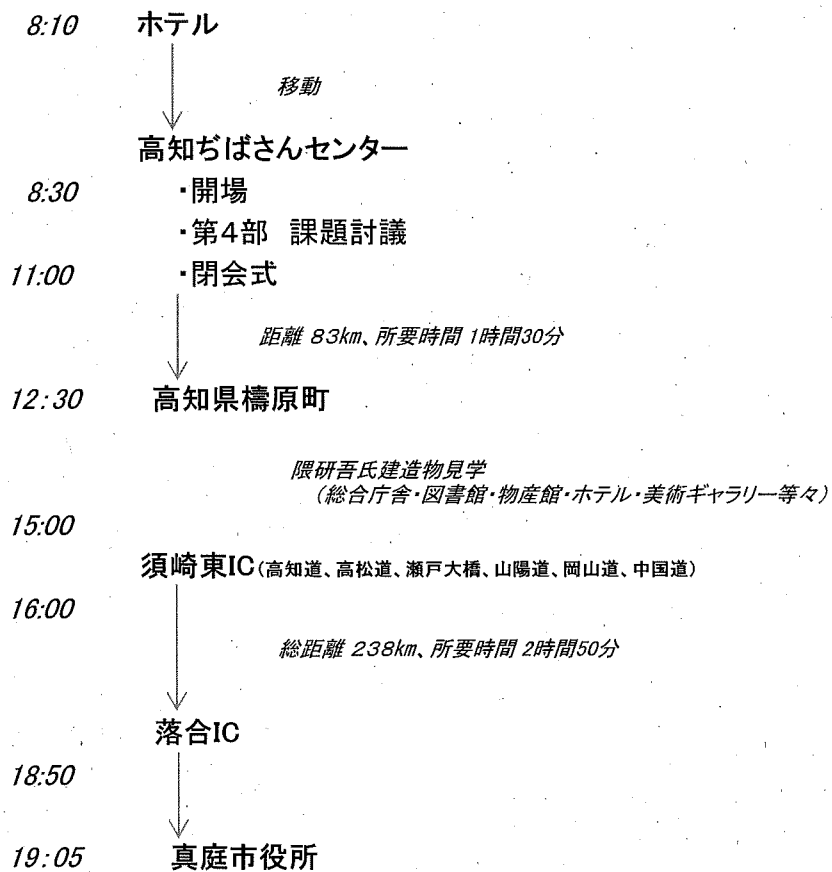
◆ 行程

10月30日(水) 全行程・自家用車使用



◆ 行程

10月31日(木)



様式第2号

議長 副議長 局長 GL 係 回 覧



報 告 書

令和 元年 12 月 27 日

真庭市議会議長 古南 源二 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 入澤 廣成 印
柴田 正志 印
谷本 彰良 印

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和 元年 10 月 30 日 (午前・午後) 8 時 30 分 至 令和 元年 10 月 31 日 (午前・午後) 19 時 00 分
2	場 所	① 10月30日(水)・31日(木) 高知県高知市布師田3992-2 高知ちばさんセンター ② 10月31日(木) 高知県高岡郡梶原町
3	用 件	① 第14回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知 ② 梶原町×隈研吾作品 見学 雲の上ギャラリー、梶原町総合庁舎、町の駅、雲の上図書館
4	概 要	「第14回全国市議会議長会研究フォーラム in 高知」視察報告 1. 視察内容 10月30日(水)、基調講演とパネルディスカッション。 令和元年10月30・31日、高知市において、正副議長をはじめとする市議会議員等



報告書（継紙）

約2,100名の参加のもと、第14回研究フォーラムが開催された。

基調講演は東京工業大学リベラルアーツ研究教育院、中島岳志教授による「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」と題して行われた。政治学を学んだ事のある者には大変に興味深い講演でした。歴史的背景を踏まえて現状を掘り下げて行き、政治のマトリクスを用いて配分を巡る軸、価値をめぐる軸。配分をめぐる軸は、リスクの社会化とリスクの個人化で対比され、価値をめぐる軸は、リベラルとパターナルで対比される図で表される。

政治のマトリクスの座標はⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳに区分され、社会情勢の変化によりその座標は変わる。歴史的な出来事からも、政治とは物語を設定することが重要であるとして、ラディカルデモクラシーとポピュリズムについて最近の国政の動向分析の紹介。次にリベラルの逆説、保守とは何かについての解説があり、共産主義は自由という名のもとに自由を剥奪していく。リベラル保守が自民党内で延びてきて欲しいと結ばれた。著書に『リベラル保守宣言』（新潮文庫）などがある。

その後パネルディスカッションでは、坪井ゆづる朝日新聞論説委員をコーディネーターに、高部正男市町村職員中央研修所学長、横田響子株式会社コラボ代表取締役・お茶の水女子大学客員准教授、古川康造高松丸亀町商店街振興組合理事長、田鍋剛高知市議会議長をパネリストとして「議会活性化のための船中八策」をテーマに進められた。

10月31日(木)、課題討議。

翌31日には、坪井ゆづる朝日新聞論説委員をコーディネーターに、滝沢一成上越市議会議員、久坂くにえ鎌倉市議会議長、小林雄二周南市議会議長を報告者として「議会活性化のための船中八策」をテーマとする課題討議が行われた。

10月31日(木)、梶原町×隈研吾作品 見学

全国市議会議長会研究フォーラムが午前中で終了したため、午後は足を伸ばして梶原町内にある隈研吾作品の見学と現況調査を行った。

まず最初に、雲の上ホテルと雲の上温泉を結ぶ雲の上ギャラリーを見学した。

「斗栱」という伝統的な木材表現をモチーフとして、刎木を何本も重ねながら、桁

報告書（継紙）

を乗せていく「やじろべえ型刎橋」は、大変に見応えのある構造物であった。また地元の梶原産の杉が使用されており、内部は木の香りがほのかに香っていた。

次に、平成18年に完成した梶原町総合庁舎を見学。一階ホールには、梶原町伝統の茶堂が設えられており、館内全域に温かい木のぬくもりが漂っていた。

次に、まちの駅「ゆすはら」を訪ねた。梶原町の特産物販売と、ホテルが融合したまちの駅「ゆすはら」は、梶原町の顔であり、施設東側外壁に用いられている茅が特徴的であった。

最後に、雲の上の図書館を見学した。館内にはボルダリング設備やカフェが併設されており、お茶を飲みながら本を読むことも可能であった。館内には心地よいBGMが流れ、グランドピアノも設置されておりミニコンサートも開かれている。図書館前の広場は天然芝が植えられており、老人がグランドゴルフを楽しんでいた。

知の拠点として学びの場であるとともに、様々な人々との世代間交流ができる憩いの場として賑わっていた。

図書館の司書の方に見学者やインバウンドの状況を伺い、統計資料があるとのことであった。後日、産業政策課経由で梶原町より資料を頂いたので参考に添付する。